

後期新役員決まる

立候補全部で五人

本年度後期自治会四役員の改選は去る九月十一日立会演説会後の信投任票によつて行われ、一年生二人、二年生一人と言つて四役員が誕生した。(会長松本隆雄、副会長北山隆、書記岡見洋、会計成尾久味子) 前期自治会は出足は良かつたが後半にはまだれてしまい生徒との協力もなく中途半端で終つた觀があつたから後期四役員、特に一年生役員にかける期待は大きい。

努力あるのみ

会長 松本 隆雄

夏休みが終つてすぐ筆選のであつた為か生徒の選舉に対する关心は全く薄く、一年生の中には選舉がいつあるかと言う事を知らない生徒もいた様であった。その様な事が今度の役員候補者が各ポストに一人づと言つた情けない結果となりました。

の二が優勝

水泳大会開く

第三回校内水泳大会が九月16日秋晴れのト、本校ブルールで校長先生の大会挨拶の後に華々しく挙行された。本大会は十二日行なわれる予定であつたものだが、ブルールが足らなかつた為に16日に伸びたものであつた。同大會に於て男子の部では五十米自由型、百米自由形、五十米平泳、二百メートルリレーの女子の部では二十五米自由形、五米平泳の種目の間で熱戦がくりひろげられた結果三年生四種目、二年生三種目、一年生五種目とそれぞれ優勝をなし遂げた。ブルールサイドを満員に埋めた応援は圧倒的に女子が多かつた。最後迄熱心に戦戦し、棄権せずに最後まで泳ぎ通した選手に拍手を送る等美しい光景を見せた反面女子水泳の



点字とブラバン

同好会出来る

聖火編集委

その後の動き

聖火編集委

阿倍高 11年記録



昭和二十三年に初号が発行されて以来各号にはその時代に本校で起つた特記すべき重要記事があり背景がくまなく報道されて、我々の知らない事実がある。

その記事を再度圧縮して密度の高いものとし、生徒諸君の目前に置き、阿倍高の歩み、ひいては新聞部の歩みを見ていただきたい。

密度の高いものとし、生徒諸君の前に置き、阿倍高の歩みを見ていただきたい。

屋内革靴使用解禁 本校の全面復帰完了

二十三年

二十四年

二十六年

二十七年

二十八年

自治会々則改正成る 遅刻者一日に四七一名出る

二十九年

三十一年

三十二年

三十三年

三四年

三五年

三六年

三七年

三八年

三九年

四十一年

四二年

四三年

四四年

四五年

四六年

四七年

四八年

四九年

五〇年

五一年

五二年

五三年

五四年

五五年

五六年

五七年

五八年

五九年

六〇年

六一年

六二年

六三年

六四年

六五年

六六年

六七年

六八年

六九年

七〇年

七一年

七二年

七三年

七四年

七五年

七六年

七七年

七八年

七九年

八〇年

八一年

八二年

八三年

八四年

八五年

八六年

八七年

八八年

八九年

九〇年

九一年

九二年

九三年

九四年

九五年

九六年

九七年

九八年

九九年

二〇〇〇年

二〇〇一年

二〇〇二年

二〇〇三年

二〇〇四年

二〇〇五年

二〇〇六年

二〇〇七年

二〇〇八年

二〇〇九年

二〇一〇年

二〇一一年

二〇一二年

二〇一三年

二〇一四年

二〇一五年

二〇一六年

二〇一七年

二〇一八年

二〇一九年

二〇二〇年

二〇二一年

二〇二二年

二〇二三年

二〇二四年

二〇二五年

二〇二六年

二〇二七年

二〇二八年

二〇二九年

二〇三〇年

二〇三一年

二〇三二年

二〇三三年

二〇三四年

二〇三五年

二〇三六年

二〇三七年

二〇三八年

二〇三九年

二〇四〇年

二〇四一年

二〇四二年

二〇四三年

二〇四四年

二〇四五年

二〇四六年

二〇四七年

二〇四八年

二〇四九年

二〇五〇年

二〇五一年

二〇五二年

二〇五三年

二〇五四年

二〇五五年

二〇五六年

二〇五七年

二〇五八年

二〇五九年

二〇六〇年

二〇六一年

二〇六二年

二〇六三年

二〇六四年

二〇六五年

二〇六六年

二〇六七年

二〇六八年

二〇六九年

二〇七〇年

二〇七一年

二〇七二年

二〇七三年

二〇七四年

二〇七五年

二〇七六年

二〇七七年

二〇七八年

二〇七九年

二〇八〇年

二〇八一年

二〇八二年

二〇八三年

二〇八四年

二〇八五年

二〇八六年

二〇八七年

二〇八八年

二〇八九年

二〇九〇年

二〇九一年

二〇九二年

二〇九三年

二〇九四年

二〇九五年

二〇九六年

二〇九七年

二〇九八年

二〇九九年

二〇九〇年

二〇九一年

二〇九二年

二〇九三年

二〇九四年

二〇九五年

二〇九六年

二〇九七年

二〇九八年

二〇九九年

二〇九〇年

二〇九一年

二〇九二年

二〇九三年

二〇九四年

二〇九五年

二〇九六年

二〇九七年

二〇九八年

二〇九九年

二〇九〇年

二〇九一年

二〇九二年

二〇九三年

二〇九四年

二〇九五年

二〇九六年

二〇九七年

二〇九八年

二〇九九年

二〇九〇年

食堂新築される

総工費百万元円

応援歌

二十九年

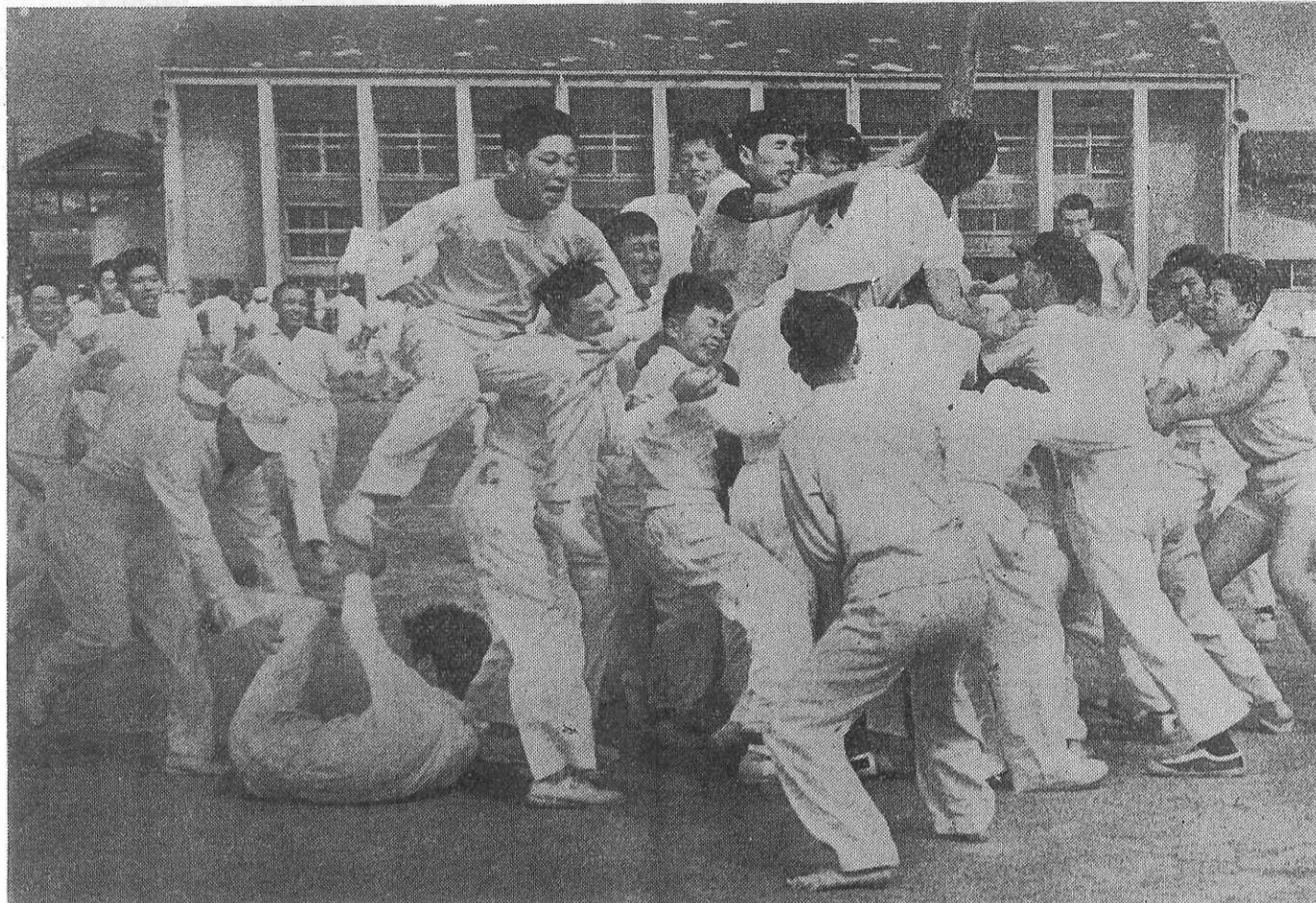
「阿部野」「阿倍野」

が

なつた。

一席「棒たおし」荒井敏充（二年）
データー カメラ、レオタックスTV S-2 f11、フィル
ネオパンSS

トリミングの研究が必要。撮る目
がはつきりしていて結構。迫力が
り、ダイナミックである。中央に
いている人物など素晴らしい。
二席 も又荒井君の作品「つどい」
が入選したが、これは修学旅行の
品で、これは旅館の一コマである
しく、学生らしい、まじめな中に
しい自然な男女が描かれている。
ピアノを弾く君は真剣そのもので
る中に合唱隊の朗らかさが美しい。
佳作の三点はシャツタ・チャン
がうまいということで選んだ。



全体に低調な作品

うまい荒井君の写真

が不思議で
つた。もつ
点数が多くな
まるだろう、
と予想して
たが意外で
つた。

集まつた応募作品は21点。その内、育祭関係が19点。六日の放課後審査の先生方（新聞部顧問渡辺・政本先生・写真部顧問石川先生）が一堂会して21点の写真の審査に当り、それがされたのがこれらの写真。

全体に作品価値が低く、低調であった。同じ生徒の作品が上位をしめこととなり、より不甲斐なさをさげ出している。

応募作品は、高校生らしく、素直あり、一般人のようにいや味のある

応募作品は21点

百号記念
字直審査終了



佳作
バ
ン
食
い
競
走
】
谷 口 悟 (二年)



佳作「応援団」末政 和雄（一年） 佳作「リレー」稻谷 勝弘（二年）
 データー カメラ、ミノルタ AII 1/125
 フィルター UV、フィルム S.S. 1/100

參考書·自習書 各種問題集

書籍のおもて

地下鉄昭和町駅南出入口角
田辺街道東角

地下鉄昭和町駅南出入口角
田沼街道東角

地下鉄昭和町駅南出入口角
田沢街道東角

